

「知の継承」
「知の継承」^{パトロン}
第一回

紙の誕生と伝播から見る
「記録媒体の世界史」

「紙」は、記録媒体として世界史において大きな役割を果たしました。本講座では中国で誕生した紙が東洋から西洋へ、どのように世界を席卷していったのかを幅広い視点から読み解きます。

<プログラム>

- 開会挨拶 石原俊時
(東京大学経済学図書館長)
- プレゼンテーション
「紙の普及と世界史」
講師：小島浩之
(東京大学経済学部資料室講師)
- トークセッション
「歴史史料をモノから読み解く
～何に情報を記すのか」
講師：小島浩之
森脇優紀
(東京大学経済学部資料室
特任助教)
- Q&A



小島浩之



森脇優紀

2021年
11月26日 (金)
19:00～20:30
申込締切=11月23日 (火)



要申込

参加方法の詳細は、QRコードから
遷移する申込ページをご覧ください

【第2回開催予告】

「海を渡った
『アダム・スミスの蔵書』
～西欧思想の伝播と日本」

2022年2月7日(月)19:00～20:30

東洋から西洋へ



「知の継承」は、東京大学経済学図書館の淵源である経済統計研究室の創設から120年、新渡戸稲造によるアダム・スミス旧蔵書の寄贈から100年、経済学部資料室の淵源である商業資料文庫の創設から110年を記念して2020～2023年度に行われる事業です

主催 東京大学経済学図書館・経済学部資料室 東京大学東アジア藝文書院(EAA) (一社)読売調査研究機構

本講座第1回の内容には、JSPS科研費JP18H0069「16～17世紀における銀の移動と情報伝達」・JSPS科研費JP20H01298「料紙分析の手法による中国古文書学の基盤構築とその応用」による研究成果の一部が含まれています。